

## 第5回メキシコ日系人医療セミナーについて

1. 出張期間 : 平成30年8月9日(木)～14日(火)

2. 出張先 : メキシコシティ(メキシコ)

3. 出張者 : 横倉会長

(随行) 国際課 能登課長

4. 内 容 :

第5回メキシコ日系人医療セミナーが平成30年8月10日、11日にメキシコシティの日墨会館で開催された。10日、在メキシコ日本国大使館の高瀬寧大使主催夕食会が公邸で開催され、横倉会長が招待された他、メキシコ日系人医師会のアカキ会長他幹部が出席した。11日のセミナーは、メキシコ在住の日系人医師会会員、医学生、日系人市民など約150名が参加して行われた。横倉会長は、「ユニバーサル・ヘルスカバレッジの推進 - 日本の経験から - 」と題し、UHCフォーラム2017、UHCの推進と緊急災害対策の強化を目的とした世界医師会(WMA)横倉会長とWHOテドロス事務局長との間における覚書の締結を主とするUHC推進に関するWMAの取組みと、来年6月の大阪でのG20開催に合わせたH20(ヘルス・プロフェッショナル会合)の開催について紹介した。また、日本の国民皆保険達成に係る歴史と将来に向けての維持のあり方について言及した。質疑応答では、子供の肥満対策と日本の国民病としての糖尿病対策について質問があった。横倉会長は、子供の肥満については、学校保健における健康教育を通じた啓発を子供自身にも行なっていることを述べた。糖尿病対策に対しては、2015年に日本糖尿病対策推進会議を設立し、日本医師会を含む医療界、医療関連業界の団体で、糖尿病の発症予防、早期発見・治療、合併症の予防に取り組んでおり、この活動は、全国47都道府県単位でも行われていることを述べた。また、アカキ会長から、自身が岡山県出身ということもあり、7月の西日本地域の豪雨災害における医療支援活動について質問があった。横倉会長は、2011年3月の東日本大震災における被災地以外の都道府県医師会による被災地医療支援活動としてのJMATの活動を紹介し、今回も100組のJMATを派遣したことを述べた。セミナーに引き続き、日本国大使館主催の式典において、横倉会長にメキシコ日系人医師会、メキシコ日本医療財団の名誉会員の証が授与された。また、アカキ会長他2名の日系人医師が、メキシコにおける医師としての活動の功績を称えられ、日本の外務大臣表彰を受けた。来年は、野口英世博士がロックフェラー医学研究所から派遣され、メキシコユカタン州の州都メリダにおいて黄熱病の研究と撲滅の研究を行ってから100周年に当たる年であることから、第6回セミナーはそのことを記念した会合として開催することが予定されている。

## 第5回メキシコ日系人医療セミナー

### プログラム

8月10日金曜日

#### 講演

- ヘノッホ・シェーンライン紫斑病の最新状況
- ノンカロリー甘味料、文献の再検討
- 胆道閉鎖症の研究および早期葛西手術のプロトコール
- 管状腎遠位性アシドーシスの臨床レントゲンスペクトル
- 講演会および医療展示会の開会セレモニー
- 臨床医療における小児内分泌学
- 21世紀における不妊とその治療
- 女性の片頭痛
- 昆虫媒介感染症とその予防
- ゲノムフレームワーク CRISPR-Cas9 臨床および倫理的側面

8月11日土曜日

#### 講演

- 消化器系疾病の指圧による治療
- 内科視点でみる心不全
- 眼科専門医でなくてもできることとやってはいけないこと
- 乳房美容整形
- 糖尿病で消化器系に表れる症状
- HIV 診断と治療の最新状況
- 耳鼻咽喉科関連の家庭における健康習慣
- 基調講演 横倉義武世界医師会長、日本医師会長

在メキシコ日本国大使館式典 外務大臣表彰式

閉会セレモニー